

町村週報

(町村の購読料は会費)
の中に含まれております

3100号

毎週月曜日発行

発行所 全国町村会 〒100-0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号：電話03-3581-0486 FAX03-3580-5955

発行人 武居丈二：定価1部40円・年間1,500円(税、送料含む) 振替口座00110-8-47697

<http://www.zck.or.jp>



山本不動尊の色づき (福島県棚倉町提供)

もくじ	
随 想	『宜野座村』っていいね!!
情 報	町村ご当地キャラじまん………
フォーラム	海と山と川の力を活かす攻めと守りのまちづくり〜高知県中土佐町………
政 策	社会保障費の「自然増」圧縮が焦点に11・1%増の32兆6、234億円11 〜2020年度厚生労働省予算概算要求〜………
	沖縄県宜野座村長 當眞 淳………(10)

コラム

環境自治体

ジャーナリスト 松本克夫

痛みで体の変調に気付くように、耐え難い猛暑や超大型の台風の影響で、今さらながら地球環境の変調を思い知らされた。その点、今年7月に亡くなった須田春海市民運動全国センター世話人は先見の明があったとつくづく思う。地球温暖化対策で世界が足並みをそろえたのは恐らく92年のリオの地球サミットが最初だが、須田さんは早くもこの年に環境自治体会議を立ち上げた。

須田さんによると、環境自治体とは「自治体の政策の全分野で環境への配慮がなされる自治体」である。環境自治体の首長や職員、市民、企業などが対等の立場で相互に経験を交流する場が環境自治体会議である。須田さんの働きかけで、ワインによるまちおこしで知られた北海道池田町の石井明町長や先崎千尋茨城県瓜連町長、山内徳信沖縄県読谷村長(いずれも当時)が呼びかけ人になり、第1回の会議を同池田町で開催した。温暖化対策を担う主体に自治体を据え、しかも大都市ではなく小さい自治体を中心にしたところが運動家としての須田さんの慧眼である。

その後、同会議は毎年各地の持ち回りで開催してきたが、最盛期には約70自治体、数百人が参加する一大イベントになった。筆者も、7〜8回参加したのだが、ごみゼロ運動、菜種油の廃食油を燃料にする菜の花プロジェクト、生ごみの堆肥化、薪ストーブの利用など各地の身近なところでの様々な創意工夫に感心させられたものだ。残念なことに、10年前、推進役の須田さんが病に倒れ、近年は参加者もやや減少気味だった。同会議は来年からSDGs(持続可能な開発目標)の達成を目指した新組織に衣替えするという。

海外に目をやれば、スウェーデンの16歳の少女が国連の気候行動サミットで大人たちの環境への「裏切り行為」を告発し、世界中で400万人以上の若者がデモに参加するなど温暖化ガス排出ゼロへの挑戦機運は従来になく高まっている。ここは日本の自治体も踏ん張る時だ。グローバルな課題にローカルから挑み、エネルギーの地産地消などにより地域の経済的自立性も高める。それが今後の自治体のあり方だと思うが、どうだろうか。

写真キャプション

山本不動尊・山本公園の紅葉は10月下旬〜11月に見頃を迎え、周りの風景が見事な紅葉に包まれる。また、この周辺では年間を通して豊かな自然を満喫でき、秋はキャンプや松茸狩りなども楽しめる。11月7〜9日の期間中は紅葉のライトアップも見所の一つとなっている。

政策解説

社会保障費の「自然増」圧縮が焦点に ＝2.1%増の32兆6,234億円＝

－2020年度厚生労働省予算概算要求－

厚生労働省は2020年度予算の概算要求をまとめた。一般会計総額は32兆6234億円で、前年度当初予算を2.1%(6593億円)上回り、過去最高の要求額となった。年末にかけた予算編成では、社会保障費の「自然増」圧縮が焦点となる。年金制度の改革案も同省の重要施策の1つ。短時間労働者への厚生年金の適用範囲などをめぐり、年末まで詰め調整が進む。政府は年金、医療、介護の今後の在り方について議論するため、安倍晋三首相をトップとする「全世代型社会保障検討会議」を9月に設置。同会議や社会保障審議会(厚労相の諮問機関)年金部会などで検討が行われる。

診療報酬、本体部分の扱い焦点

高齢化の進展や医療の高度化により、年金や医療に充てられる国庫負担は急増している。こうした「自然増」と呼ばれる伸びは5300億円と見込んだ。今年度予算は概算要求段階で6000億円と見込まれており、700億円少なくなった。

伸びが鈍化したのは、終戦前後の混乱期に出生数が一時的に少なかった時期がある影響で、75歳以上の後期高齢者に入る人口が減るため。ただ22年度以降は「団塊の世代」が75歳以上の後期高齢者入りし、25年度には全ての団塊世代が後期高齢者になる。これに伴って医療や介護にか

かる国庫負担もさらに膨張することが見込まれる。

2040年度には「団塊ジュニア世代」が高齢者入りし、65歳以上の高齢者人口がピークを迎える見通しだ。

「風の前の静けさ」(厚労省幹部)と言われる来年度の予算編成作業だが、年末にかけては診療報酬改定をめぐり激しい攻防が予想される。20年度は2年に1度の報酬改定に当たり、年末には医師の件費などの「本体部分」と、薬剤費などの「薬価部分」の改定率が決定される。

医療機関や薬局が卸から仕入れる薬の値段は、販売競争などのため公定価格である薬価を大幅に下回ることが多い。このため報酬改定では基

本的に薬価は引き下げられる。今回の改定では、厚生省は「本体部分」について、医師の働き方改革の推進や医療の高度化に対応させるとして、プラス改定を求める方針。薬価の引き下げを含めた全体の改定値はマイナスになると見られ、これで社会保障費は数百億円の圧縮が可能となる模様だ。

これに対し財務省は自然増の圧縮額を1200億円程度まで積み上げ、最終的な伸びを4000億円台前半とするよう求める構え。このため本体部分についても聖域視しない姿勢を示している。前回改定の本体「0.55%増」を軸にしつつ、12月中旬の閣僚折衝にかけて財務・厚労両省や与党との間で調整が続く。診療報酬改定についての議論は中央社会保険医療協議会(中医協)でも行われ、診療報酬以外でも世論の反発を期に今年から制度が凍結されている「妊婦加算」の再開や、かかりつけ医の機能強化を図るとして導入された「機能強化加算」についても、医師会と保険者側で激しい意見のやりとりが予想される。

また介護保険制度についても、年末に向けて介護サービスの自己負担引き上げや、軽度の要介護者に対す

政 策

る給付抑制策が議論される。すでに社会保障審議会介護保険部会で議論がスタートしており、年末までに制度改正案を策定した上で、来年の通常国会に関連法案を提出する。

「支え手」増へ年金改革

首相が看板政策に掲げる「全世代型社会保障」の具体化に向けて、9月に立ち上げられた「全世代型社会保障検討会議」の行方にも注目が集まる。年金、医療、介護と高齢者雇用に関する今後の方向性と制度の在り方が取り上げられる見通し。

このうち年金については8月末に、5年に1度行われる年金財政検証が公表された。同時に示された「オプシオン試算」では、短時間労働者への厚生年金適用拡大などを進めることで、給付水準に一定の上昇効果が見られることも示されている。

これを受け、社会保障審議会年金部会などでは現在、来年の通常国会に提出する年金制度改革法案の策定作業が進められている。短時間労働者への厚生年金適用は、16年10月から①従業員規模が501人以上の企業②週労働時間が20時間以上③月額賃金8・8万円以上の条件を満たす

範囲に拡大された。

今回の制度改革でもっとも有力なのは①の従業員規模を緩和する案。厚生省幹部は、「規模をどこまで引き下げるかが適用拡大のポイントだ」と見る。一方、適用拡大に伴って、パート労働者を多く抱える小売、流通業や中小企業は労使折半となり新たな保険料負担が増える。そのため、拡大範囲の線引きは難航することが予想される。

また年金制度改革では、政府・与党は収入が一定以上ある高齢者の厚生年金を減額・停止する「在職老齢年金制度」について、高齢者の就労意欲を削ぐものだと見直す方針。ただ年金財政検証では、単純に制度を廃止した場合、将来世代の年金財源を新たな給付分に充てることになるため、長期的には年金水準の低下につながると試算されており、これを避けるには代替財源の確保が必要となる。

有力な捻出手段と考えられるのは、公的年金への課税優遇措置の見直し案。これには世論の反発が高まる可能性もあるため、厚生省は段階的な制度見直しなどを含め、慎重に検討を進める意向を示す。

「痛み」の改革に踏み込むか

さらに年金制度改革でも、受給開始年齢を現在の70歳までから75歳に延ばすことで、元気な高齢者が社会保障の「支え手」に回ってもらえるような仕組みへと転換させる。合わせて高齢者がより長く働けるようにするため、企業に対して70歳までの雇用確保を努力目標とする「高年齢者雇用安定法」の改正案を年末までにとりまとめる。

20年の年明けから本格化するのが医療制度改革だ。団塊の世代の後期高齢者入りを目前に控え、20年半ばの骨太方針に「給付と負担」の方向性を提示。20年末までに医療制度改革案をとりまとめ、21年には関連法案を国会提出する青写真を描く。

医療制度改革メニューには高齢者の医療費負担引き上げなどが想定されるものの、実現するかどうかはまだ不透明な部分も多い。

今後の政治日程の不透明さも少なからず影を落としている。安倍首相の自民党総裁任期が21年9月で満了を迎えるのを控え、政権のレームダック化を防ぎつつ、宿願とされる憲法改正の実現に向けて、首相が早

期の衆院解散・総選挙に打って出るとの見方がくすぶっている。そのため、企業や自治体による健康づくり支援や、医療機関の統廃合などが主要テーマになる一方、「痛み」を伴うメニューは「簡単には出せないだろう」（厚生省幹部）との声も上がる。

目玉は氷河期世代対策

厚生省は来年度予算概算要求の重点施策として、いわゆる「就職氷河期世代」の支援策を挙げた。

現在40代半ばから30代半ばを中心に、バブル崩壊後の就職難のありを受け、望まぬ非正規雇用や無業状態を長期間強いられている人も多い。こうした状況で老後に差し掛かれば、低年金により生活保護受給が必要となる可能性もある。

このため、政府は3年間の集中的な支援プログラムにより、氷河期世代の正規雇用者を30万人増やすことを掲げた。今回の概算要求でも正規就労や自立支援策などを盛り込んだ。

就労対策では、氷河期世代向けに「短期資格等取得コース（仮称）」を新たに設け、業界団体に運営を委託する。フオークリフトの運転資格な

政 策

と安定的な就労につながる資格について、短期間での取得とその後の職場体験なども組み合わせさせて正社員就職に向けた支援を行う。

また全国のハローワークに専門の窓口を設置、専門担当者によるチームで就職やその後の安定した就業などを計画的に支援する。

引きこもりなど無業状態にある人に向けては、「地域若者サポートステーション」の支援対象を40代全体に拡大。引きこもり支援センターなどと協力し、対象者を個別に訪問する「アウトリーチ」型の支援を行い、自立・就労を働きかける。こうした支援プランに65.3億円を計上した。

引きこもりの長期化により中高年を高齢の親が養うなど、従来の枠組みでは対応できない問題にも対応が必要となっており、市町村に設置した「断らない相談支援」を増設する。

子ども、子育てで増額

深刻化する児童虐待への対策は19年度当初予算から約100億円増額し、1725億円とした。中核市、特別区での児童相談所の設置を促進。弁護士や警察OBの配置や、SNS(ソーシャル・ネットワーキン

グ・サービス)を活用した相談窓口の増設などを支援する。

子どもを虐待する大人には、何らかの心理的な問題を抱えているケースもあると指摘される。そのため、虐待を受けた子どもだけでなく、保護者など家族に対して精神科医や臨床心理士が治療を行うことで、虐待の再発、深刻化を防止する。親などによる「しつけのための体罰」の防止に向け、体罰禁止の広告啓発活動も行う。

また、若くして予期せず妊娠した母親が必要な支援、相談相手を得られず、結果として子どもを虐待するリスクが高いことに注目。10代を主な対象としてSNSを使った相談支援を行う。NPO法人などを通じて、健診などに同行したり、一時的な居場所を確保することも想定する。

労働分野では、生産性向上に取り組む中小企業への助成金を新設または拡充する。これにより、賃金の引き上げにつなげたいと考えて、184億円を盛り込んだ。

柔軟な雇用環境を整備するため、テレワークの導入支援に3.1億円を充てた。導入した場合の助成やセミナーによる導入の支援などを行う。またセクハラ・パワハラの撲滅の

ため、「ハラスメント撲滅月間」を中心に事業主向けの説明会やシンポジウムを開催して啓発活動を実施。

都道府県労働局の相談体制を強化するとともに、平日夜間や休日も対応するフリーダイヤル、メールでの相談窓口を設ける。こうしたハラスメント総合対策に45億円を計上した。

医療分野では、大規模災害が相次ぐ可能性も指摘されていることを受け、災害拠点病院などの耐震化、給水・自家発電設備の整備支援に98億円を盛り込んだ。

また東京五輪・パラリンピックを控え、風疹の急拡大を防ぐため、地方自治体が行う抗体検査への補助を行う。がんなどの治療に用いる遺伝情報を網羅的に調べる「全ゲノム解析」の体制整備も新たに10億円計上した。

町村週報ご購読のご案内

「町村週報」を毎号ご自宅や職場にお届けいたします。ご購読を希望される方は、はがき、FAXまたはEメール(kouhou@zckor.jp)にて、全国町村会広報部までお申し込み下さい。

★年間購読料1,500円(送料込み)

★請求書を送付いたしますので、折り返しお振り込み下さい。

車両共済(保険)のご案内

この車両共済(保険)は、町村生協の自動車共済で補償する対人賠償、対物賠償、限定搭乗者傷害等に加え「ご自身のおクルマの補償(車両保険)」を追加する制度です。お車が衝突した場合や台風・いたすら・盗難など偶然な事故で損害を被ったときに、共済(保険)金をお支払いします。

●お見積りのご請求・お申込み・お問い合わせなどは、下記までご連絡ください●

株式会社 千里 (取扱代理店)

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-32 全国町村会館西館内
●ホームページアドレス <http://www.chisato-ag.co.jp>

お電話の際には、車検証をお手元にご用意ください

(受付時間: 祝日、年末年始を除く月~金 午前9時30分~午後5時)

TEL 0120-731-087 FAX 03-3519-7325

- 「車両共済(保険)制度」は、全国町村職員生活協同組合と損害保険ジャパン日本興亜株式会社とが集团協契約を締結し、実施しているものです。
 - 集团協としてご契約いただけるのは、保険契約者および被保険者が損保ジャパン日本興亜の定める条件を満たす場合のみとなります。
- このご案内は概要を説明したものです。詳細については、取扱代理店(千里)までお問い合わせください。

(車両保険引受保険会社) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社

SJNK17-16682(2017.12.28作成)

フォーラム

中土佐町の町並み

現地レポート

町村独自のまちづくり



海と山と川の力を活かす 攻めと守りのまちづくり

高知県

中土佐町

なかとさちょう

中土佐町の概要

中土佐町は、高知県中西部に位置し、人口6,823人(2019年3月31日時点)、面積193.28kmの町です。平成18年に旧中土佐町と大野見村が合併して誕生しました。

町は、太平洋に面した海岸部(旧中土佐町地域)と山々に囲まれた海拔300m以上の台地部(旧大野見村地域)に分かれています。旧中土佐町地域は北西および西南に山嶺が連立し、その尾根の先端は土佐湾に突出して岬となり、壁状の海岸線を形成しています。これらの山嶺に源を発する数本の中小河川が土佐湾に注ぎ、河口域は漁港、河川流域には平野が散在して耕地をなしています。漁業の町として全国的に有名で、特にカツオ漁が古くから栄えています。一方旧大野見村地域は、日

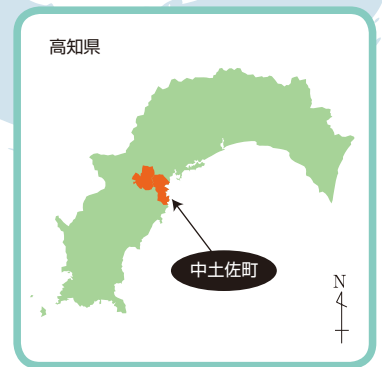
本最後の清流四万十川の上流域に開けた地区であり、地区内を蛇行する四万十川が地区をほぼ東西に二分し、その両岸に耕地が開け、集落が点在しています。こちらは林業や工場誘致により発展してきた地域です。このように中土佐町は、清流四万十川、緑豊かな山野、青い海、土佐湾に展開するリアス式の海岸線など、変化に富む風致を備える自然環境に恵まれた町です。

攻めのまちづくり

●漁業とカツオの町

旧中土佐町区域にある久礼地区は、太平洋沿岸部の土佐湾が大きく湾入した地点にあり、平成23年2月に漁師町としては全国初の重要文化的景観に選定されました。

久礼の港「久礼港」は、中世から近世にかけて、四万十川流域を中心とし



フォーラム



▲久礼港

た領域各地で生産された物資を、関西方面へ搬出する重要な港の一つとして発展してきました。また久礼港はカツオ漁の港として全国に名をはせ、昭和53年より16年間、青年誌「ビッグコミック」で連載され、昭和55年には映画化もされた青柳裕介氏作の漫画「土佐の一本釣り」の舞台にもなりました。

また、町おこしの一環として、官民共同で取り組む「かつお祭」を平成2年から毎年開催し今年で30回を数えました。漁業と観光を結び付けた「カツオの町」としての戦略を展開しています。

久礼港所属の漁船は現在、大型カツオ船(乗組員約20名)が2隻、小型漁船(乗組員8名)が5隻です。

大型漁船は、2月ごろ久礼港を出た後、九州、小笠原諸島、グアム近辺、宮城県気仙沼、北方領土付近といった

ルートを、約9か月をかけて廻ります。漁の特徴は、冷凍でなくすべて生鮮水揚げのみであることです。

一方、小釣りと呼ばれる小型漁船は土佐湾周辺で漁を行い、翌朝6時半に始まる久礼漁協でせり落とされた新鮮な生カツオはその日のうちに食卓に上ります。生のカツオは鮮度が落ちやすく、これは地元ならではの特権ともいえることで、一般的にはなかなかおいしい生カツオが食べられません。そこで町では、全国の皆さんに本当においしいカツオを味わっていただくために、スラリアイスという氷点下のシャベット状の氷を用い鮮度を保ったままお届けするシステムを開発し軌道に乗せるべく現在取組を進めています。

さて、カツオ漁の町として栄えてきた中土佐町ですが、近年は漁業者の高齢化と後継者不足が課題となつていきます。実際、現役の漁業関係者は100人足らずにとどまっており、担い手不足を解消するため最近ではインドネシア等の東南アジア国籍の乗組員が増加、町の重要産業を支える担い手として活躍しています。

●林業×ヒノキの町

旧大野見村区域の大野見地区は91%が山林に覆われ、清流四万十川の上流域という条件を活かした農林業が盛んな地域で、町が文化的景観として選定するなど美しい景観をたたえています。



▲久礼中学校アリーナ

す。また早くから精密機械工場や縫製工場の誘致を行ってきた地域でもあります。

林業についてはヒノキの林野率が60%を占め、この資源を活かす独自の取組として、平成23年の町立久礼中学校校舎の新築に際し、地場産材(県産材100%、うち町産材75%)を使用しました。使用した材木は、主たる構造材として樹齢100年物のヒノキを530本使用。肘木工法と呼ばれる伝統的な建築方式を用いた他、アリーナの天井部には鉄骨やRCではなく木材で支えるラメラーフという木の強さ、美しさを前面に出した特殊構造になっています。この校舎は、平成23年木材利用優良施設コンクール(木材利用推進中央協議会主催)において林野庁長官賞を受賞しています。

木造校舎化の狙いには、①木の香り・吸音性により子どもたちの心を癒すこと、②調湿性能により居住性を高めること、③温暖化防止への貢献、④地域の森林の整備促進、⑤地域経済への貢献等があります。ぬくもりと開放感あふれる校舎を見学していると、生徒の皆さんが、大きな声で挨拶してくれます。

この久礼中学校の木材を調達したのが中土佐町、土佐市、須崎市、津野町の4市町で構成される「須崎地区森林組合」です。管内の森林面積は3、300ha余。うち人工林は約11、900haです。組合の林業従事者は比較的若い年齢構成であり、現在は経営体質の強化に力を入れています。

●賑わいの町

(1) 鮮度抜群! 大正町市場

久礼大正町市場は、アーケード街に露店や飲食店が軒を連ねる中土佐町を代表する観光拠点の一つです。その歴史は、明治時代中期までさかのぼり、漁師のおかみさん達が魚を露店で売出したことが起源となっています。大正4年、付近が大火に見舞われ消滅の危機に瀕しますが、大正天皇からの多額の寄付金により復興を果たします。住民は大正天皇に感謝の意を込めて、地名を地蔵町改め大正町として現在に至っています。

平成に入ると景気の後退に伴い市場は徐々に活気を失っていきませんが、商

フォーラム

店街の皆さんと行政が一体となり、カツオの町の台所として活気あつた往時の賑わい復活を目指します。平成15年、その取組が、リニューアルオープンへとつながりました。

抜群の鮮度を誇る鮮魚や干物、野菜、果物、惣菜等が新鮮かつ求めやすい価格で店頭に並んでいるほか、魚介を提供する食堂、観光パンフレットの配布やガイドツアーの案内など、中土佐町の魅力を発信する拠点の一つとして、平日はもとより、週末は特に大勢の人々の活気で賑わっています。

(2) 買う・遊ぶ・食べるがそろう「道の駅なかとさ」

平成29年7月、久礼港の隣にオープンした「道の駅なかとさ」は、町の最新の観光スポットです。コンセプトは、



▲久礼大正町市場

Shopping(買う)、Eating(食べる)、Amusement(遊ぶ)、それぞれ頭文字とSea(海)をかけあわせた、「SEAプロジェクト」として長年の構想を経て実現した事業です。

道の駅が立地する場所はかつては漁港でしたが、計画段階で東日本大震災が発生するなど紆余曲折を経て開業にこぎつけました。南海トラフ地震で予想される津波対策として高台への避難路を設けるなど、防災対策にも配慮した設計となっています。

開業以来、8か月でレジ通過者が累計25万人を達成、1年半経過後の平成31年1月下旬には累計50万人を突破しました。この間の売上額は約5億3千万円を計上するなど経営状態も良好です。



▲道の駅なかとさ



▲道の駅なかとさ

来客層は、ファミリー層を主なターゲットとし、8割が県内からの来客者ですが、四国・中国地方からの来訪者も多く、働くスタッフもそのほとんどが町内に暮らす人々です。

この道の駅はそれぞれの店舗が独立した戸建てになっているのが特徴で、木造平屋建てならではの賑わい感の創出と、インシヤル・ランニングコストの低減に繋がっています。

旗艦店舗である地域産品や活魚を販売するマルシェには、観光案内所や赤ちゃん休憩室、ボルタリングなどキッズスペースが設けられています。その他、テナントショップとして新鮮な魚介類を扱う浜焼きレストラン「海王」、食パンが大人気のパン屋「パン工房岩本こむぎ店」、地元のイチゴ農家のお母さんたちが作るスイーツとイタリアンのお店「風工房」等が出店しています。中でも「風工房」は平成9年に、ケーキ作りをしたことがないイチゴ農

家のおかみさんたちが約2年間修業を積み、本格的なケーキショップを開店し、当時センセーションを巻き起こしたお店で、「道の駅なかとさ」のオープンに伴い移転しました。農家の女性が経営するケーキ屋という話題性もあり、メディアでも度々取り上げられるなど、県内外からの人々を呼び込む人気スポットとなっています。屋外には子どもたちが楽しめるミニ新幹線やプール、ドッグラン、芝生広場等があり、幅広い来場者のニーズに合わせた施設を完備しています。

守りのまちづくり

【先進的な防災対策、必ず助かる命を守る】

南海トラフ地震は、南海トラフやその周辺における地殻の境界を震源とする地震で、南海地震や東南海地震、東海地震等が含まれます。国が平成27年に公表した南海トラフ地震の長期評価によれば、M8.5〜9クラスの今後30年以内の地震発生確率は、70%程度となっています。中土佐町内の最大震度は6弱以上、一部地域では震度7とされています。最大津波は22mと非常に大きくなっており、地震発生から沿岸部の早い場所では15分、久礼や上ノ加江の住宅が密集する市街地では20分前後で浸水が始まると予想されています。

「第2次 中土佐町総合振興計画」(平成29年3月)の策定段階で実施された

フォーラム

住民アンケートの中で、「中土佐町に力をいれてほしい施策」では「防災」が最も多く、災害に備える施策への高い関心が示されました。

このため、中土佐町では、南海トラフ地震をはじめとする防災対策をソフト対策（逃げる対策）、ハード対策（避難を助ける対策）の双方から、最重点課題として取り組んでいます。特に津波対策については、①「揺れたら逃げる」の徹底、②安全に避難ができる環境づくり（避難困難地の解消・揺れ対策等）、③地域で取り組む防災対策（自主防災活動の活性化）、④防災拠点の強化（役場庁舎・消防庁舎等の高台移転）を基本方針としています。

(1) 全国最大級の津波避難タワー

具体的な防災対策の一環として、中土佐町では、全国最大級の津波避難タワーを2か所、整備しています。それぞれ「純平」、「八千代」と名付けられたタワーは、高さが20m近くあり、最大級の揺れや津波にも耐えうる強固な作りとなっています。第1号タワーについては、観光客が多く集まる周辺観光施設の駐車場から津波避難タワーまでの歩道橋を設置し、避難人数400人を想定。タワー内の倉庫には、保存水やインスタント食品、毛布、簡易トイレといった避難生活物資が3日分備蓄されています。その他、手巻き式コンドラーや雨水貯留装置、太陽光発電システムもあり、24時間常時開放してい



▲津波避難タワー

ます。

また津波避難タワーは、防災施設としてだけでなく、観光スポットとしても位置づけられます。平成23年に「久礼の港と漁師町の景観」として漁師町で初めての国の重要な景観区域に選定されたことを受け、第1号タワーはベージュを基調とした優しい色合いで外装を塗装、タワー内部には木の格子が付けられるなど、周囲の景観に配慮する構造となっています。町のランドマークとしての役割も担うタワーの海拔20mから臨む太平洋と漁村の眺望は圧巻です。

(2) 公共施設の高台移転等事業

さらに、現在、町を挙げて取り組んでいるのが、防災拠点となる役場庁舎や消防庁舎と保育所の高台移転事業です。これは南海トラフ地震・津波への備えとして、現在久礼地区にあり、浸水想定のある役場庁舎・消防分署・保育所を令和2年度末までを目標に高台移転するものです。

この計画は平成22年度から検討を開始し、有識者による検討委員会を経て計画を策定、移転先となる高台の造成が平成29年度から始まりました。平成30年12月からは役場庁舎の建築に着工、平成31年度からは消防庁舎、保育所の着工を開始しています。保育所は町の宝である子どもたちへの環境に配慮した木造平屋建てとなっています。

移転先の高台は、中心市街地にも近く、また、災害発生後の復旧・復興の面から国道56号に近接する地点を選定しました。久礼小学校と同中学校は近接していますので、保・小・中が一体となった理想的な教育環境が実現するとともに津波指定避難所となっており、役場、消防といった町の司令塔とも連携が図られる取組となっています。



▲工事が進む移転地区



▲「久礼未来橋」命名者の竹田心菜さん(左)

未来への懸け橋

中土佐町は、海、山、川からもたらされる豊かな資源と環境を活かした、農山漁村の魅力のすべてを満たした町です。同時に、厳しい自然の猛威に果敢に立ち向かおうとしている町でもあります。そこには、地域をこよなく愛し、次代を担う子どもたちへ町の将来を託そうと懸命に考え、行動する人々の営みがあります。

公共施設の移転地区にこの春、新しい橋が完成しました。「久礼未来橋」と名付けられた橋の命名者は、久礼小学校に通う竹田心菜さん(写真)です。将来を担っていく純真無垢な子どもたちが、将来にわたって誇りと希望をもって歩いていくことを象徴するかのような未来への懸け橋の開通に人々の期待が寄せられています。

全国町村会事務局

町村

ご当地キャラじまん

Vol.53

特産品だけじゃない!

文化・歴史を身にまとして観光大使!!

ご当地自慢の美味しいものや伝統行事を身にまとい、体を張ってPRしているご当地キャラたちを紹介するコーナーです。今回は、西ブロック(中国・四国・九州・沖縄)からピックアップ。

西ブロック

1月1日生まれ。食いしん坊で、のんびり屋さんの男子。特技は、踊りと蕎麦の早食いらしい。自然の中で遊ぶことは好きだが、足が短いのでかけっこは苦手。普段は森に住んでいて、森林浴をしながら肉球のお手入れをしている。



飯南町マスコットキャラクター

い〜じゃん



2005年に、旧頓原町と旧赤来町が合併し誕生した飯南町。まったく新しい町名になったことから、どこにあるどんな町なのかをPRするために、イメージキャラクターとして生まれたのが「い〜じゃん」です。町内の大小さまざまなイベントに参加したり、お手伝いしたりして、愛嬌のある笑顔をふりまき、明るく元気なところが町民に人気。また、ナ行の発音が苦手なせいか、話す時に「〜じゃ」を多用するので、特に猫好きから愛されているのだとか。「大和芋のすりおろしをかけた蕎麦」「りんご」「トマト」「パプリカ」「いのしし」など、町の特産品のPRも担当し、ツイッターで町の旬な情報を発信中。今後は、もっともっといろいろなイベントに参加し、「い〜じゃん」の存在によって、町の認知度がアップするよう、活動を続けていきます。

上板町観光イメージキャラクター

かきじい

徳島県上板町



2013年に上板町の観光振興、特産品及び町のPRを目的としたイメージキャラクターを公募し、翌年、町観光イメージキャラクター選考委員会で最終候補10作品に絞った後、町内で総選挙を実施して誕生したキャラクター。上板町は、藍染の原料である「タデアイ」の栽培面積並びに藍染の染料「すくも」の出荷量が日本一です。また、この伝統を守り育て、文化意識の高揚を図るため、藍染体験施設「技の館」を運営しています。「かきじい」は、町内で開催されるイベントはもちろん、町外にもよく顔を出している、藍染製品の他、特産品の和生糖や柿、桃などもPRしています。語尾に「じゃ」「や」「のう」などをつけて、徳島ことばで話す「かきじい」。高齢ながら、これからも大好きな上板町のために、畑仕事と観光PRに励みます。



推定150歳。誕生日は「昔すぎて覚えてらん」本人談。人あたりが良く、飄々としている。趣味は柿のお世話。特技は高速畑耕し。最近、メディアへの出演を果たし、フレターもくるようになったので、ご機嫌です。

喜界町マスコットキャラクター

よろこびと



無邪気で天真爛漫、好奇心旺盛な妖精。特技は体の大きさを自由自在に変えられること(通常約60cm)。島の8月お祭り「かき」が大好きで、趣味は散歩。サンゴ礁の石垣に住んでいる。台風と山羊が苦手。

2012年12月から「ご当地キャラ大募集」の一般公募を開始し、町内外から計185点にのぼる応募作品が寄せられました。2013年5月に、町内の小学校の職員や高校生の代表、観光関係者などの選考委員による「喜界町マスコットキャラクター選考会」が審査・決定し、「よろこびと」が誕生しました。2014年3月には、お披露目会見が行われ、喜界町よろこぶ部きりりとかがやくい島推進係所属の町職員として、町長から辞令交付されたのです。「よろこびと」は、くろくろおめめと、町章をあしらったサクナー(IIボタンポウフウ)帽子がチャームポイント。白ごま体型の体に、しあわせの種「をつめこんだ島みかんのポシエットをかけ、そら豆シューズを履いて、しまつちゅ(島人)を幸せにするため、そして、喜界町のPRのため、町内を駆け巡っています。

次回は、東ブロック(北海道・東北・関東)からご紹介します



あつし 淳
とうま 眞 當
まのざ 眞 眞
沖縄県宜野座村長

随 想

『宜野座村』って いいね!!

私は高校・大学と地元宜野座村を離れ、沖縄県の県都那覇市等で学生生活を送っていました。その頃、県外だけでなく県内の友人からも「宜野座村ってどこ?」との質問を受けました。当時、軽い気持ちで返答していた私でしたが、まさか二十数年後に宜野座村の舵取り役として、村の魅力在必死にPRすることになるとは…(笑)

宜野座村は、沖縄本島のほぼ中央部、太平洋に面した人口約6100人の小さな農村です。那覇からは車で約1時間と訪れやすいことに加え、自然豊かなやんばる(沖縄本島北部の通称)の玄関口として、手つかずの自然が残りつつも、都会の利便性も日常的に享受できる位置にあることから、宜野座村を端的に表すなら、「適度な田舎」と言えると思います。

さて、読者の皆さんにも沖縄に観光目的で訪れたことがある方も多いのではないのでしょうか。沖縄県の平成30年度入域観光客数は約1000万人となり、観光業が県経済を牽引している状況です。しかしながら、来沖する観光客の動線は、石垣島や宮古島といった離島や、リゾート地の恩納村や美ら海水族館のある本部町などの沖縄本島の西海岸地域を主にあるのが現状であり、宜野座村の位置する北部東海岸地域は、如何にして人を呼び込み、地域の活性化につなげていくかが大きな課題となっています。

宜野座村はこれまで、農業を基幹産業と位置付け、村づくりを展開してきました。基幹作物であるサトウキビをはじめ、パイナップルやマン

ゴーなどの熱帯果樹、減農薬にこだわったベビーリーフなどの栽培に力を入れてきました。近年では、沖縄で生産が難しいとされてきたイチゴ栽培に積極的に取り組み、村農業後継者等育成センターを中心に栽培技術の向上に努めてきました。その結果、県内で「いちご狩り」と言えば宜野座村という認識も定着してきており、村の体験型観光の中心となっています。

また、現在、宜野座村の観光の拠点となるのが「道の駅まのざ」です。同施設は平成10年に村で生産された農水産物の直売や加工品開発を目的として村特産品加工直売センター「未来まのざ」の名称で開所されました。その後、平成26年に沖縄本島東海岸エリアで唯一の「道の駅」(名称:道の駅まのざ)として認定され、平成28年には県内初の重点「道の駅」として登録されました。平成30年4月には、既存施設に隣接して情報発信等を目的とした観光拠点施設や、水遊び場と大型遊具を配した交流広場を整備し、道の駅「まのざ」のリニューアルオープンを行いました。その結果、農水産物の購買者だけでなく、インバウンドを含めた家族連れも訪れるようになり、平成30

年度は来場者数が63万人を超え、北部東海岸エリアへ新たな人の流れが生まれてきました。

その他にも、本村では約10万人のファンが来場する「阪神タイガース宜野座春季キャンプ」が毎年2月に行われますし、アドベンチャー体験が出来る「松田鍾乳洞」、三世代で楽しめる「漢那パークゴルフ場」、白い砂浜が美しい「漢那ビーチ」、健康と美容に効果のあるタラソテラピー施設「かりゆしカンナタラソラグーナ」などの観光関係施設も充実してきました。加えて、近年、高級リゾートホテルやリゾートウエディングチャペルがオープンし、今後のホテル建設も予定されるなど、我が村にも確実に観光の波が寄せてきています。

今後、宜野座村の「適度な田舎」らしさを保ちつつ、時代の流れを見極めながら、地域資源の魅力を磨き続け、観光振興による地域活性化に取り組んでいきたいと思えます。

多くの人に、宜野座村は「いいね!!」でなく、「いいね!!」と「メントして頂けるように…」

さまざまな「集いの場」を 演出いたします

東京でのイベントに最適な
絶好のロケーションを誇る全国町村会館。
かけがえのないひとときを、
上質なサービスでおもてなしいたします。

県人会など同郷者の集い、
同窓会、親睦会などの懇談会

観光PR、移住セミナー
職員採用試験などの説明会

職員旅行・家族旅行

広さと設備が多彩な大ホールと、3つの
会議室がございます。
会議・研修、パーティーなどに幅広くご利用
いただけます。



和・洋食のレストランも お気軽にご利用ください

全国町村会館には、
会議室・宴会場のほかに、
ふたつのレストランもございます。
お気軽にお立ち寄りください。



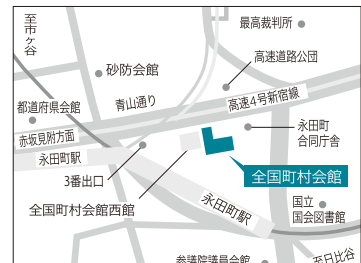
カジュアルレストラン「ペルラン」



和食処「さいかち」

客室のイメージ	SINGLE ROOM シングル 119室	DOUBLE ROOM ダブル 12室	TWIN ROOM ツイン 18室

和室もございますのでお問い合わせください。(禁煙ルームもご用意しております。)
※市町村職員共済組合等の宿泊助成券がご利用いただけます。



ご予約・お問い合わせ

全国町村会館
TEL.03(3581)0471
FAX.03(3581)0220
〒100-0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号
ホームページアドレス <http://www.zck.or.jp/kaikan>

- 全国町村会館へのアクセス
- ・有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」3番出口徒歩1分
- ・丸の内線・銀座線「赤坂見附駅」徒歩8分
- ・タクシー東京駅から約20分





2019

町村から日本を元気にする

町村自慢のグルメ・物産が有楽町に大集合!

被災地の特産品や
名物を買って復興支援!
復興応援コーナー
(ロビーギャラリー)

新コーナー

サテライト会場では、
「小さくてもキラリと光る
町村コーナー」登場!
グルメ・物産も販売!

各日とも先着1万名様に
オリジナルエコバッグを
プレゼント!



80体以上の
ご当地
キャラクターが
今年も大集合!



日時 **11月30日** (土) 12~19時
12月1日 (日) 10~17時

会場 **東京国際フォーラム**
ホールE/ロビーギャラリー
サテライト会場:有楽町駅前広場

主催 **全国町村会**

後援 内閣府・総務省・厚生労働省・農林水産省・経済産業省・観光庁・全国知事会・
全国市長会・全国都道府県議会議員会・全国市議会議員会・
全国町村議会議員会・東京都・読売新聞社

machi1mura1-2019.com

※掲載されている特産品などは都合により出展がない場合もございます。
※混雑が予想されますので、会場の一部で入場制限をさせていただく場合がございます。ご了承ください。

